

	・市民や世界から見た「静岡文化」がどのようなものなのか、という視点もどこかに入れていく必要がある。 ・浜松は「音楽」、金沢は「工芸」という外からのイメージを静岡について何かと考えたときに、静岡は「歴史」を活用したまちづくりをしていくべきだと考える。 ----- ◆「文化をはぐくむ人づくり」における意見 ・評価できる点に記載されている「ストレンジシード」は、出演者において県外から参加率が高い事業のため、「市民が主役となる」事業として例示する静岡まつりや大道芸ワールドカップと並列するのは違和感がある。 ・改善すべき点における実施する文化事業において「行政主導と民間主導の違いに基軸を絞る」とあるが、その必要性はあるのか。棲み分けは大事だと思うが。 ----- ◆「文化でつながるまちづくり」における意見 ・ソーシャルインクルージョンにおいて、初心者を受け入れる土壌や初心者が活躍できる場を創出するのは、市だからこそできる。そういった事業が増えていくのを期待したい。 ----- ◆「文化でにぎわうまちづくり」における意見 ・情報発信について、YouTube や SNS などこれからの先の評価はそういった媒体を盛り込んでいく必要がある。 ・清水港から降り立ったときの印象づくり(対インバウンド)に取り組むべき。(日本らしさ、静岡らしさが伝わる事業の企画実施) ----- ・それぞれの意見を総括書の中のどの部分にどのように落とすのかを言語化するため、再度意見を出してもらい、会長・副会長・事務局において内容を再考する。	佐々木委員 高市委員 久野委員 成島委員 久野委員 久保田委員 遠藤委員 平野会長
11:55	【報告】 静岡市民文化会館 再整備事業進捗について 資料説明 ・静岡市民文化会館再整備事業 これまでの経緯について説明 ・工事契約再発注に向けた取り組みについて説明 ・今後の対応、今後のスケジュールについて説明 質疑 →なし	野末係長
12:15	事務連絡・閉会	平野補佐

署名(会長)

平野雅彦

署名(委員)

海野俊彦